

視聴覚教育時報

No.717 2019年 10月号

contents

▽令和元年度第2回全視連理事会・センター総会

▽講師派遣事業

群馬県教育メディア指導者養成講座

▽平成30年度 全視連研究プロジェクト「地域メディアセンター事業事例」

＜事例3＞栃木県視聴覚教育連盟の取組

～「自作視聴覚教材コンクール」と「集まれ！メディアの仲間たち」について～

▽専門委員だより「始まりは、映画から」

新潟県阿賀町立上川小学校校長（全視連副専門委員長） 丸山 裕輔

▽専門委員だより「千葉県総合教育センターの視聴覚教育に関する研修の紹介」

千葉県総合教育センター研究指導主事（全視連専門委員） 小島 靖子

▽えすけーぷ / ▽短信

▽令和元年度第2回全視連理事会・センター総会

表記理事会が来る11月8日（金）視聴覚・放送教育全国大会1日目のパナソニックセンター東京において開催される。

▽第2回全国視聴覚教育連盟理事会

期日：11月8日（金）

時間：15:30～16:00

会場：パナソニックセンター東京

内容：

- ・第1号議案 令和元年度事業経過報告書（案）について
- ・第2号議案 令和元年度中間決算報告書（案）について
- ・その他

▽全国公立視聴覚センター連絡協議会総会

期日：会場については上記理事会と同一会場

時間：16:00～16:30

内容：

- ・平成30年度事業報告書（案）並びに収支決算報告書（案）
- ・令和元年度事業経過報告書（案）及び中間決算報告書（案）
- ・役員選任
- ・その他



●栃木県自作視聴覚教材コンクール

1. 取組のねらい

インターネット等を通じた各種映像コンテンツの利用は急速に進み、学校教育のみならず社会教育の場でも、その積極的な活用が図られている。そして、撮影機器や動画編集ソフト等の機能も充実してきており、動画制作が身近なものとなってきた。そのため、インターネット上にはたくさんの動画が配信されており、学習に活用できるものも多数存在している。しかしながら、歴史や文化、伝統などの地域素材を題材にした教材となると、目にする機会は決して多くない。そこで、地域素材を題材とした教材、さらには学習者の実態に応じたきめ細かな教材を募集しコンクールを開催することで、本県視聴覚教育の振興に寄与することを期待している。

2. 取組の概要

当コンクールは、本連盟と栃木県教育委員会の共催で実施しており、今回で31回目となる。歴史や文化、豊かな自然等の地域素材を題材にした教材、学習者の実態に応じたきめ細かい教材の必要性から、地域やふるさとへの感動や新たな発見、郷土愛、想いを教材として制作した作品を募集している。

当コンクールはNHK宇都宮放送局並びにとちぎテレビの後援を受けており、審査会では両局から審査員の協力をいただいている。また、宇都宮メディア・アーツ専門学校、県学校視聴覚教育連絡協議会からも審査員の協力をいただいている。

3. 取組の成果

作品制作に充てる時間を十分に確保するねらいから、今回は募集期間を7月中旬から1月上旬までの約半年間とした。それにより、高等学校の放送部が長期休業期間を生かして取材等を行ったり、一般の方が年末年始を生かして編集を行ったりできたことで、応募点数増につなげることができた。

社会教育部門では団体部門において地域ビデオクラブからの応募が、個人部門では新たな応募者からの応募が複数あった。また、学校教育部門では県立高等学校放送部からの応募が複数あった。地域の史跡や伝統芸能を取り上げた作品、趣味を



本審査会の様子



表彰式での入賞作品視聴



県民の日イベントでの入賞作品上映会

生かした作品、地域活動や人権教育をテーマにした作品など、多彩な作品が集まった。

審査会は、1月中旬に予備審査会、2月上旬に本審査会を実施した。予備審査会においては全応募作品を審査し、本審査を行うにふさわしい作品であるかを判断した。本審査会では、予備審査会を通過した7作品を審査した。「企画と表現」「制作の技法」について評価し、総合して採点を行い、協議により入賞作品を決定した。

なお、審査会後は表彰式を開催した。表彰式は応募者全員に案内をし、入賞者のみならず選外応募者も出席できるようにしている。表彰式のなかで入賞作品を視聴したり、審査員代表から講評をいただいたりしていることから、次の作品作りに向けての参考に、と参加する応募者もいる。

4. 今後の可能性

コンクール入賞作品は、県視聴覚ライブラリーにて所蔵・貸出しし、作品の活用を図っている。また、県民の日イベント等で入賞作品を上映し、作品とコンクールの周知も図っている。

作品制作をとおして「ふるさと」を見つめ、考えることにより郷土理解をより一層深めること、そして入賞作品の教材としての有効性を学校教育・社会教育それぞれの場に向けて広報し、活用を啓発していくことにより、本県生涯学習推進の3つの視点の一つである「愛着や誇りを育む生涯学習」の振興を図っていききたい。

●集まれ！メディアの仲間たち

1. 取組のねらい

今日、社会における情報通信技術環境の整備が進み、インターネットを始めモバイルメディア等の普及によるメディア利用が多様化している。また、機器やソフトウェアの機能も充実してきており、以前は高度な、そして専門的な技術が求められるような作業に、一般の方でも取り組めるような環境が整ってきている。

そのような技術の進歩が見られるなか、メディアの活用面においては、多くの可能性を含んでいるように思われる。例えば、パソコンでワープロソフトを使用することを例に挙げると、ただ文字を入力した文書と、文字の配置を工夫したり適切な絵や図を挿入したりした文書では、出来映えに違いが出る。そこで、様々な機能に触れるような学びの機会を提供することにより、受講者のスキルアップを期待している。本講座は、パソコンを活用し、図形作図機能や動画編集関連のメディアに触れ、そのスキルアップを図ること、そして、視聴覚メディアに対する関心を高めることを目的として実施している。

第27回「とちぎ教育の日」生涯学習フェスティバル

集まれ！ メディアの仲間たち 《入門編》

【開催要項】

主にパソコンを使用し、図形作図機能や動画編集関連のメディアに触れ、そのスキルアップを図るとともに、参加者の視聴覚メディアに関する関心を高めます。

【日 時】平成30年10月13日（土）10：00～15：00
 【会 場】栃木県総合教育センター（宇都宮市瓦谷町1070）
 【対 象】県民（小学生～一般） **初心者大歓迎**です。
 【参加料】無料
 【定 員】各コース30名（先着順）
 【申込み】裏面をご覧ください。
 受付期間は9/5（水）～10/10（水）です。

【演習内容】 ※下記2コースの中からどちらか1つを選んでいただきます。

①	タイトル	内 容	準備 物	定 員
①	Wordでお絵かき スタンドグラスを描こう	Wordの図形作図機能が使い、窓枠を組 み合わせて絵を描きます。フリーハンド 描き、スタンドグラスを完成させます。	・特にありません。 ※作成したデータを持ち帰 りたい方は、USBメモリ をお持ちください。	30名
②	お気に入りの写真や動画 を使って、オリジナル映 像を作ろう	講師：栃木県メディアボランティア アドバイザーが使って、動画を編集し ていきます。お気に入りの写真や動画を 使って、オリジナル映像の制作方法を学 びます。	・20枚くらいの画像データ 及び10分くらいの動画デ ータ、PCMに挿入したい 曲データ（5分程度）を、 USBメモリに入れてお携 るください。ただし、課 題では動画編集ソフトを 用意しています。	30名

主催：栃木県視聴覚教育連盟

集まれ！メディアの仲間たち 開催要項

2. 取組の概要

本講座は、「とちぎ教育の日」生涯学習フェスティバルに合わせて実施している。今年度の演習内容は、「Wordでお絵かき スタンドグラスを描こう」と「お気に入りの写真や動画を使って、オリジナル映像を作ろう」の2つであった。講座時間は、どちらも昼食休憩を挟んでの4時間通した。

「Wordでお絵かき」講座では、Word2016の作図機能を使い、配置や重なりを工夫しながら図を組合せ、ブドウの描かれたスタンドグラスを仕上げた。本講座の講師は栃木県メディアボランティア。当連盟の事務局がある栃木県総合教育センターで平成13年に実施したIT講習会を修了した方たちを中心に組織され、本講座だけでなく、県や各市町でのパソコン講座において講師を務めるなど、精力的に活動してくれている。

「オリジナル映像作成」講座では、持参した写真や動画、音楽を生かし、オリジナル映像を編集した。Adobe Premiere Elements を使い、画像の切り替わりの効果や拡大縮小、音楽の使い方など、工夫を凝らしながら映像を制作した。本講座は、県内の専門学校で放送・映像・音響科を担任されている先生に講師を依頼した。

3. 取組の成果

どちらの講座にも、県内各地からの応募があった。また、年代も小学生から高齢者まで、幅広い方の参加があった。

こういった講座に初めて参加した方、パソコン操作自体不慣れだという方の参加もあったが、どちらの講座とも、受講者の満足度は高かった。アンケートの記述でも、Word を初めて使用した方からは「ていねいに教えていただき、少し分かった気がします」とあったり、オリジナル映像作成に参加した小学生が「できるか不安だったが、やってみて、できるんだ！と分かってうれしい」と述べたりしていることから、ねらいでもある「様々な機能に触れる学習機会の提供」をとおして受講者のスキルアップを図ることができたと考える。

4. 今後の可能性

今回「Wordでお絵かき」講座の講師を務めた栃木県メディアボランティアは、県総合教育センターを会場に年8回の自主講座を開催している。また、メンバーは在住市町でも各種活動に積極的に取り組んでいることから、生涯学習の観点に立ち、こういった方たちの活躍の場の提供を更に推進していきたいと考える。また、一般県民のメディアに関する学習機会を今後も継続していくとともに、受講した方たちを新たな活躍の場へ誘導する視点も持ち合わせていきたいと考える。こういった学びの機会がその場限りにならないよう、事務局としても策を講じていく必要があると考える。

●まとめ

技術進歩によるハード面・ソフト面の開発や進歩はめざましく、それにより視聴覚教育の置かれている状況も多様化しているように感じられる。さらには、組織改編等により、視聴覚ライブラリーや担当職員の配置等、各ライブラリーの状況も多様化している。そのような中ではあるが、連盟のねらいでもある各ライブラリーとの連絡協力を図るとともに、それぞれの活動を促進していきながら、栃木県の視聴覚教育の振興を図るべく、今後も事業を実施していきたい。



「Wordでお絵かき」の様子



「オリジナル映像作成」の様子

<執筆者：栃木県視聴覚教育連盟事務局（栃木県総合教育センター生涯学習部）社会教育主事 築 真也>

▽専門委員だより「始まりは、映画から」

新潟県阿賀町立上川小学校校長（全視連副専門委員長） 丸山 裕輔

『OKUAGA』…手塚眞監督の制作映画です。お聞きしたお話によると、新潟大学映画倶楽部の学生さんが阿賀町を舞台に映画を作る際に、手塚眞監督に監修の願いをしました。手塚監督ご自身も大変阿賀町を気に入られ、自らこの映画を制作されました。舞台となった阿賀町で上映会と監督のトークショーがあり、幸いにも映画を鑑賞しお話をお聴きすることができました。奥阿賀の幽玄なイメージを電子音響とダンサーの身体の動きで表現された映画に、とても感動しました。土地と自然、ダンスを融合させた地域創生型作品と唱われていました。

『OKUAGA』と同時上映された学生さんの映画も見事で、大変感銘を受けました。若者の映画

にかける情熱が伝わり、阿賀町の素晴らしさも再認識しました。

今、子どもたちにデジタルカメラを持たせ、学校並びに郷土のお気に入りの写真やショート・ムービーを撮影させる細やかな試みに、同僚とともに取り組んでいます。子どもたちの純粋な気持ちで切り取る映像を私自身観るのが楽しみであり、映像そのものが子どもたちの感性を育み、いろいろな人々を魅了するものになっていけたらと願っています。

当校のある阿賀町の会場で、観ることのできた『OKUAGA』や学生さんたちの映画作品。この試みを始める契機となり、推進する力になっています。

▽専門委員だより「千葉県総合教育センターの視聴覚教育に関する研修の紹介」

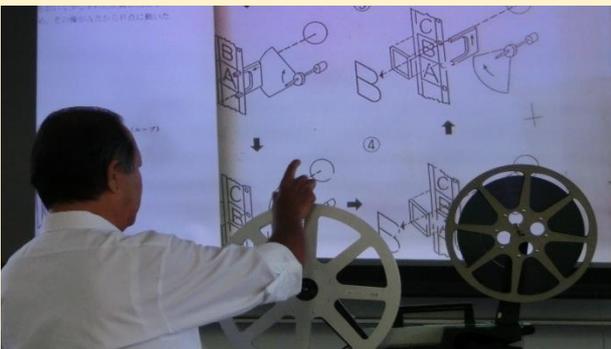
千葉県総合教育センター研究指導主事（全視連専門委員） 小島 靖子

千葉県総合教育センターは、教育に関する調査研究及び教育関係の研修を行うとともに、千葉県の教育の振興に資することを目的としている。カリキュラム開発部メディア教育担当は、情報教育・視聴覚教育の振興に資するための調査研究、並びに教材の収集、製作及び利用に関する事業を行うために置かれており、県下にある市町村視聴覚センター・ライブラリーと連携しながら、教材提供、研修、教材製作等の活動の充実を図っていることとするものである。

今年度6月から8月にかけて本センターで行われた研修について紹介する。

1 視聴覚機器活用研修

16ミリ映写機の操作に関する講義と演習を



行う。研修修了者には、操作講習修了証ならびに修了証書の交付を行っている。参加者は平成30年度9名、令和元年度11名と少ないが、映写会を開催する資格が持てるため受講者の満足度は高い。

2 ビデオカメラを用いた教材づくり研修

ビデオカメラの操作方法と撮影方法を学び、実際に撮影した動画を編集して作品を制作する研修。ビデオカメラの操作だけでなく、撮影技法を演習の中で習得していく。（2日間実施）1日目はビデオカメラの操作から撮影までを行



い、2日目はパソコンを用いた動画編集となる。平成30年度は11名、令和元年度は15名の参加だった。研修内容・満足度ともに受講者の評価が高い。

3 メディア教育指導者研修

メディア教育の今日的な課題の講義とICT機器や教材の活用方法についての演習を2日間で実施している。1日目は「理論編」としてメディア教育と情報モラル教育、著作権法、青少年のネット利用についての講義。2日目は「実践編」としてNHK for Schoolの授業創造・テレビ会議システム活用の基礎知識と演習（ハングアウト、スカイプ）を行っており、2日間の受講者にはメデ

ィア教育指導者研修修了証を交付している。平成30年度は12名、令和元年度は13名の参加となった。理論だけでなく実技の時間も多いため、受講者の満足度が高く、活気のある研修である。

4 研修を終えて

講師から1人ずつ指導を受けられることがこれらの研修の利点である。一人ひとりが楽しみ、充実した研修を今後も心掛けたい。



▽えすけーぷ

今年から、個人の活動として小・中学生対象のプログラミング学習の場を毎月1回継続的に開催しています。これまでは仕事でプログラミング講座の企画運営をしていましたが、期間や参加人数の制約もなく、少人数で継続的にじっくりと取り組んでいます。

小学校でのプログラミング教育にどのように取り組むか、学校現場では様々な工夫が行われていますが、保護者の側もこれからどんなことが行われるのか、我が子は大丈夫だろうか、と不安もいっぱいです。私の活動は親子で参加していただくことで、保護者も理解を深め、我が子の興味関心にも気づくことができる機会になっているため、楽しんで参加していただいています。

プログラミングを学ぶというと、scratchなどの視覚的にわかりやすくプログラムを組める言語で、ゲームを作るといった取り組みが多いようですが、いわゆるロボットをプログラムで動かすという取り組みも行われています。私は、マイクロコンピュータ micro:bit を使った車型ロボット

を組立てて、ブロックを使ってプログラムをかける MakeCode エディタを使って操作するという方法をとっています。

実際に動く車を使って、どう動かすかという目標を立て、そのためにどのようにプログラムを書けばいいのかを考え、作成し、試して、修正して、目標を達成できるように仕上げていくという流れが、プログラミング的思考を身につけていく上で効果があると思いますし、子どもたちも夢中になって取り組んでいます。

これからの社会を生きる、作っていく子どもたちは、これまでのようにこうすればいい、これをやっていたら大丈夫という決まった道筋のない社会を生きていかなければなりません。これまでと違う生きる力を身につけていくためにもプログラミング学習はとても大切なことです。視聴覚センター・ライブラリーの活動においても、これからの社会に必要な力をつけられる取り組みということ意識して取り組んでいただけることを期待しています。(TM)

▽短信 「eスクール ステップアップ・キャンプ2019 東日本大会」

(一財)日本視聴覚教育協会・日本視聴覚教具連合会主催、文部科学省・神奈川県教育委員会共催による表記研修会が、11月20日(木)に横浜産貿ホール MARINERIA において開催される。

【基調講演】

「教育の情報化の最新動向」文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課長／高谷浩樹氏

【パネルディスカッション】

コーディネーター

・奈良教育大学大学院教授／小柳和喜雄氏

登壇者

・文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課教科調査官／鹿野利春氏

・横浜市国立大学教職大学院教授／野中陽一氏

・神奈川県教育委員会教育局総務室 ICT 推進担当課長／柴田 功氏

・つくば市立みどりの学園義務教育学校／毛利氏

【事例発表】

・小学校一報活用能力の育成やプログラミング教育等

・中学校一タブレット活用やプログラミング教育等

・高等学校一BYOD やクラウドサービスの活用等、またポスターセッションも

・特別支援学校一遠隔教育やタブレット活用、視線入力装置の活用等

●申込・詳細は下記まで。

<http://eschool.javea.or.jp/>

全国視聴覚教育連盟

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-10-11 虎ノ門 PF ビル

TEL : 03-3431-2186 / Fax : 03-3431-2192

HP : <http://www.zenshi.jp/>

Mail : info@zenshi.jp

東映 教育ソフト Line-up!

平和教育

アゲハがとんだ —1945・3・10東京大空襲—

1945年3月10日の東京大空襲をテーマに、戦争の悲惨さと平和の大切さを訴える平和教材アニメーションです。



教育映像祭優秀賞受賞

字幕版付き

(20分) 66,000円(税抜)

薬物乱用防止

薬物乱用は なぜいけないのか

青少年の薬物乱用を防止するための、ドラマ形式の教材です。薬物乱用から薬物依存になっていく恐ろしさを伝え、薬物を拒絶する強い意志を持たせます。



(19分) 66,000円(税抜)

道徳・特別活動

いじめ 心の声に気づく力

小学校中・高学年向けのいじめ防止教材ドラマです。一見遊びに見える行為も、相手が苦痛を感じていけば「いじめ」であることを理解し、傍観者にならず、解決のために何か行動しようとする意識を持つことをねらいとしています。



教育映像祭最優秀賞(文部科学大臣賞)受賞

字幕版付き

(19分)

指導の手引書・ワークシート付き

66,000円(税抜)

いじめ 一歩ふみ出す勇氣

中学生向けのいじめ防止教材ドラマです。いじめの傍観者だった主人公が葛藤し、仲間と一緒にいじめの被害者を救っていかうとする感動的なストーリーを通して、いじめ解決のために一歩ふみ出すことの大切さを伝えます。



教育映像祭優秀賞受賞

字幕版付き

(19分)

指導の手引書・ワークシート付き

66,000円(税抜)

小学校 社会科

なぜなに社会科 映像資料集

DISC1 飲料水・電気

知りたい! 浄水場 (11分)

知りたい! 火力発電所 (11分)

知りたい! 自然エネルギーを使った発電 (14分)

DISC2 ごみ処理・下水道

知りたい! 清掃工場 (10分)

知りたい! 資源のリサイクル (13分)

知りたい! 下水処理場 (12分)



次期学習指導要領に向けた、小学校社会科の新シリーズ。最新の映像、的確な構成で、社会の中の様々な事象を紹介します。とことん映像の力で見せていく社会科教材の王道をいくシリーズです。

監修：東京都台東区立金竜小学校 校長 古谷尚律

DISC1 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)

DISC2 3タイトル+映像クリップ 本体価格:66,000円(税抜)

お問い合わせ・チラシ請求は

☎ 03(3535)3613 FAX03(3535)3632

予告編
配信中

<http://www.toei.co.jp/edu/>

教育映像 検索



東映株式会社 教育映像部

〒104-8108 東京都中央区銀座3-2-17

(価格は税抜きです) ●学校向け特別価格もございますので、お気軽にお問い合わせください。

<http://www.toei.co.jp/edu/>